

# 日本と中国のホストファミリーの比較

(Comparison of Japanese and Chinese Host Families)

## イランリー

Yiran Li

82-272 Intermediate Japanese II

私の文化比較プロジェクトのトピックはホストファミリーについての問題で、日本と中国の文化を比較する。このトピックを選んだ理由は、私は、将来日本に交換留学をして、たぶんホストファミリーといっしょに住むからだ。日本人の家はいろいろな習慣が中国の家と違う。だから、葛藤を防いだり、もっと日本の文化を習ったりするために、日本のホストファミリーの習慣や期待をよく知っている方がいい。

まず、日本のホストファミリーには門限がある。だいたい11時ごろだ。晩ご飯に帰ってこられない時や夜遅く帰る時は、ホストファミリーに電話する。次に、日本の大学生は、独立した人間と考えられていないから、ホストファミリーの父母にお礼の手紙を書いて出すように両親に頼んだ方がよさそう。最後に、ホストマザーは、時々家事をするのは自分の仕事だと考えるから、家事を手伝いたい時には、ホストマザーと話した方が良さそう。

まず、中国のホストファミリーは、門限がある。だいたい11時ごろだ。夜遅く帰る前の日に、ホストファミリーに言ってもいい。いつも遅く帰るのは良くない。そして、中国の大学生は、独立した人間と考えられているから、親はホストファミリーの父

母にお礼の手紙を書かなくてもいい。でも、中国のホストファミリーに贈り物をあげてもいい。最後に、中国のホストマザーは、留学生が家事を手伝うととても喜ぶ。

日本人のゲストの話からホストファミリーについていろいろなことが分かった。まず、留学生は、日本の学生のようにアルバイトをする。木原さんによると、日本にいる留学生は、だいたいサービスやキャンペーンのアルバイトをする。山内さんによると、大学生は、塾の教師のアルバイトが一番好きだ。料金は、一番高い。そして、塾の教師なら、大学の入学試験は、難しいので、高三の塾の教師の料金は、もっと高い。いい大学の大学生の料金ももっと高い。次に、木原さんによると、日本の家族は、外人の概念があるけれど、この概念を使うことは、場合によって違う。例えば、ホストファミリーだけといっしょに公園に行ったり、レストランに行ったり、観光したりする時に、留学生は、家族の一員だと考えられる。しかし、ホストファミリー以外の家族の親友がいる時に、例えば、結婚式で、留学生は、外人だと考えられる。第三に、日本の家族の週末の活動は、とても面白い。金野さんによると、日本の家族のお父さんは、たぶん寝て、何もしない。お母さんは、子供達を連れて、遊園地に行く。それに、高校生は、いつも予備校で勉強して、大学の入学試験の準備をしたら、大変だと思う。最後に、木原さんによると、日本では、アメリカと違い、隣人を手伝っても、お金をもらわない。例えば、隣人の犬といっしょに散歩したり、車を洗ったりしても何ももらわない。会社で働く時だけお金をもらう。つまり、日本のホストファミリーの習慣は、中国やアメリカとちょっと違う。

第一に、日本も中国も夜の街では人が少ないから、ちょっと危なくなる。外出する前にホストファミリーの父母に言わないと、ホストファミリーの父母は、心配する。次に、日本の父母は中国の父母ほど、「子供は自分でいろいろなことを体験する」と思わないから、子供のことがよく気になる。いつも子供のことを手伝う。第三に、日本の家庭の成員は、週末に各自の生活がある。でも、中国の家庭は、だいたいいっしょに活動する。「平日にみんなは、時間がないから、週末に家族は集まって、平日しないことをいっしょにしてもいい。」と思う。お父さんは、寝ないで、時々男の子供達を連れて、遊ぶ。お母さんは女の子に美味しい料理をのを教える。

第四に、日本では隣人に手伝うなら、お金をもらわない。たぶん日本人は、会社ないで働く人は、フリーターを、みっともないと思う。でも、中国では、隣人をつても、学生に自立能力を上げられると思う。最後に、日本の家庭は、「外人」の概念があるから、ホストマザーは、留学生をお客様のように考える。確かに、留学生が家事を手伝うなら、ホストマザーは、ちょっと変と思う。でも、中国の家庭はだいたい、留学生といっしょに家事をするから、もっと友達になると思う。結論として、私の意見では、両親の子供への期待は国によって違うので、ホストファミリーのルールが違うと考える。